

南相馬市小高・村上地区の津波災害調査

—宮城教育大学の学生が主催する被災地視察研修に同行して—

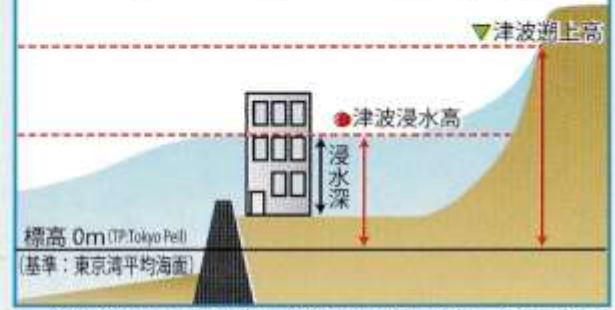


調査日：2014.6.29.

85
小高
Odaka

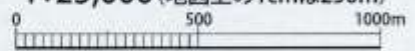
凡例 / Legend

- 津波浸水範囲 (Inundation area)
- 推定津波浸水範囲 (Unconfirmed inundation area)
- 国 道
- 津波遡上高 (m) (Runup height (m))
- 津波浸水高 (m) (Inundation height (m))
- 地形図幅境界



注) 津波の高さは、「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」の成果による

1:25,000 (地図上の1cmは250m)

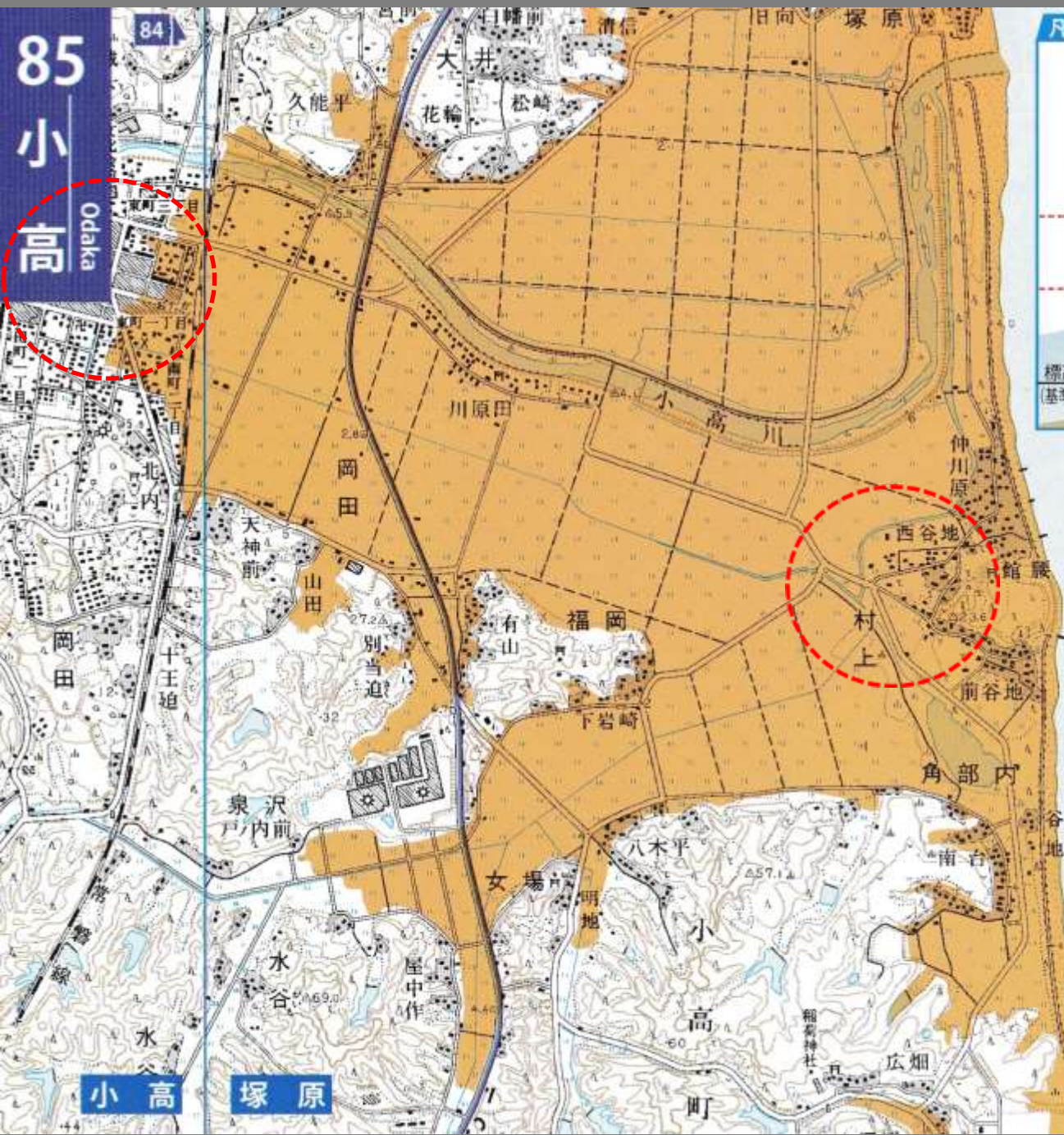


調査地域

今回の行動範囲は主に2か所
小高駅前通り及び村上西谷地

原図は『原口/岩松：東日本大震災津波詳細地図(上巻) 古今書院 2011. 10.』による。

[註記] 本地域は福島第一原発に近く、災害直後の詳細な津波浸水高の調査は実施されていない。





小高区
村上地区
西谷地



空間線量率の計測地点

3.11から3年が経過しても手つかずの津波被災地



地元住民の体験談を聴く

駅舎



プラットホーム

駅前通り



駅に近いふれあい広場

JR常磐線小高駅とその周辺

高架橋から見た常磐線と小高駅周辺





小高区中心部の地震被災地



屋根から降ろされた瓦



解体家屋番号-C6



道路補修中の看板



ボランティア活動センターの仮設テント



相馬野馬追(野馬懸)
[国指定重要無形民俗文化財]



小高駅前の観光案内掲示板より

南相馬小高の文化遺産



ジョークなのか、本当に馬を繋ぐのか？



合資会社小高銀砂(珪砂)工場跡地



大悲山伝説の大蛇と琵琶法師？